

# 水田・畑地の除染のための「反転耕」

福島県農林水産部

福島県の水田・畑地の除染対策として「反転耕」を採用しましたのでご紹介します。

## 1 除染対策のねらい

- 空間線量を下げること。(農業者や近隣で生活する人の外部被曝を引き下げる)
- モニタリング等において農畜産物の放射性セシウムが未検出となること。

「反転耕」はこのねらいを達成する上で効果的であり排土が生じないのが利点です。

## 2 除染対策としての「反転耕」の内容 (手順)

### ① ゼオライトを散布します。(※)

(※) 放射性セシウムの吸着資材として利用する場合の施用量については未確定ですが、量に比例して確実な効果が期待できるようです。

放射性セシウムを吸着固定するためゼオライトを散布します。

- ライムソア 又は ブロードキャスタ

### ② プラウによる反転耕30cmを行います。



表層土と下層土を入れ替える「反転耕起」を行います。

30cmの「反転耕起」により表層土は15cm～20cmの土中に移動します。

- 大型トラクタ (クローラ型が望ましい)
- <水田>ジョインタ付きプラウ
- <参考畑地> 2段耕プラウ (検討中)

### ③大型トラクタ (クローラートラクタ等) による踏圧を行います。

重量のある大型トラクタの走行により「反転耕起」した表土を踏み固めます。床締め効果と降雨の影響を回避するのがねらいです。

- 大型トラクタ (クローラ型が望ましい)

④ほ場を乾燥させます。(2週間程度)

次の工程である碎土の効率を高めるため、ほ場の乾燥を図ります。天候やほ場の条件により乾燥期間は変化します。

⑤バーチカルハローによる碎土・整地・鎮圧を行います。



バーチカルハローにより、碎土と整地及び鎮圧を同時に完了させます。鎮圧によりほ場の沈み込みを抑制する効果が期待できます。

- 大型トラクタ (クローラ型が望ましい)
- バーチカルハロー

⑥レーザーレベラーによる均平を行います。



レーザーレベラー (レーザー光線を利用した均平システムを装備したトラクタと作業機による均平) により、精度の高い均平作業を行いほ場を仕上げます。

レベラー作業においても鎮圧の効果がえられます。

不陸 (ほ場の高低差) の解消が図られるため、水田における水管理が均一となり、除草効果や生育の揃いが良化します。

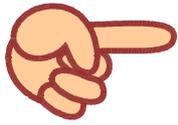
- 大型トラクタ (クローラ型が望ましい)
- レーザーレベラー



通常通り  
又は

< 代かき田植え >  
< 無代かき田植え >

いずれも可能です。



## < 実演会を開催します。是非ご参加ください >

本年12月13日（火）13時～15時 桑折町谷地地内で「反転耕」の実演研修会を開催します。（申込不要、現地集合・現地解散）

（なお、今後、県内各地で実演会の開催を予定しています。）

会場は桑折町の国道4号線沿い、仙台方面へ向かって左手、東北自動車道・国見インターから5分程の場所です。小雨決行。

駐車場がなく農道（狭い）を利用したの路上駐車（一方通行）となります。このため、いったん駐車されると実演会終了後まで退場できなくなりますがご了承願います。また、混雑を避けるため、なるべく乗り合わせでお越しくださるようお願いいたします。



問い合わせ先：農林水産業に関する相談窓口（電話：024-521-7319）  
ホームページ：農林水産部研究技術室ホームページ（PDF形式ファイル）  
URL [http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gi\\_jyutsufukyuu/seikugijyutsu\\_jyouhou.html](http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gi_jyutsufukyuu/seikugijyutsu_jyouhou.html)

（他の農業技術情報等をご覧ください）

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報  
（右欄に掲載のQRコードよりご覧ください）



モバイル版 QRコード